

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ～10 時
祈 祷 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈教会
(第3・午後2時)
●夕の祈教会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

3227 2026 年 9 月 20 日

礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 18 主日)

司 式 者 井 殿 準

奏 楽 者 伊 東 永 子

前 奏	奏 楽 者
招 詞 詩編 95 : 1 ~ 3	司 式 者
讃 美 歌 14 「たたえよ、王なるわれらの神を」	一 同
聖 書 ヘブライ 9 : 23 ~ 28 (新 P. 411)	司 式 者
使徒信条 (93-4-A)	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌 194 「神さまは そのひとり子を」	一 同
説 教 「福音と自己責任」	司 式 者
祈 祷	〃
讃 美 歌 452 「神は私を救い出された」	一 同
献 金	〃
主の祈り (93-5-A)	〃
頌 栄 29 「天のみ民も」	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱 40-6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃 美 歌 91 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「慈しみが結ぶ実を」

(Ⅱコリント 9 : 6 ~ 15)

この箇所では問題となっているのは窮乏に苦しむエルサレム教会にささげるための献金である。

パウロはこの献金について「各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたおりにしなさい」と語っているが (7 節)、彼はこの献金を一方的に命じているのではない。8 章によれば、コリントの信徒たち自身が窮乏に苦しむエルサレム教会に献金を贈りたいと願っていたことが記されている (8:10)。そのように、神の恵みに感謝して、喜んで始めたはずの献金であったが、何かの理由で、運動に滞りが生じていたのであろう。パウロは、コリントの信徒たちに向かって、最初の熱い想いに立ち帰って、喜んで、感謝して、ささげる者となりなさいと語りかける。

パウロはこのことを種まきにたとえつつ、「我々が蒔く種はそもそも神がお与えくださったものなのだ」と告げる (10 節)。我々が種を惜しまず豊かに蒔くことができるのは、神が先立って罪人の我々を憐れんで御子イエス・キリストをお送りくださり、その御子の十字架を通して我々に命を得させ、我々を大いに富める者としてくださったからにはほかならない。そうやって、神がまず我々に慈しみを注いでくださったから、我々は神に感謝して惜しまず差し出すこと、惜しまず隣人に慈しみを差し出すことができるのだ。

神はそうやって我々が豊かに慈しみという種を蒔くことを求めている。我々は、すでにそれぞれ遣わされた場所で、少しずつその種を蒔いていることだろうが、では、その種はどんな実を結んで行くのだろうか？ 我々の蒔く慈しみの種は、隣人に慰めや励ましを与えることになるかも知れない。さらに、その隣人が神の存在に心を開き、神をあがめて生きようになるなら、こんなに嬉しいことはない。パウロが期待していたのも、そのことだ (11 ~ 14 節)。

我々は、独り子をたまわるほどの愛をもって神から愛され、豊かにされていることをおぼえて、その恵みを独り占めにすることなく、これからもひたすらに慈しみという種を蒔くことに努めて歩んで行く。